

東京都に対する予算要望を承認

第 122 回理事会議事概要

令和 4 年 7 月 5 日 (火)

ビルメンテナンス会館 4 階

第 1 審議事項

第 1 号議案 理事職務の継続について

標記の件について提案説明があり、全会一致で承認された。

■提案説明

大谷理事から、令和 4 年 6 月 20 日付で、ALSOK ファシリティーズ株式会社代表取締役社長を退任し、同日付で同社の参与に就任したとの連絡があった。併せて、定款施行規則第 9 条に基づき、理事継続の申し出が提出されている。大谷理事には、財務委員会委員として尽力いただいております、引き続き理事としてご活躍いただきたいと思います。大谷理事の現任期終了時までの理事職務継続について提案する。

第 2 号議案 入会の承認について

その 1 正会員 共立管財株式会社

その 2 正会員 株式会社クリエイティブクリーン

その 3 正会員 株式会社 S O U W A

標記正会員 3 社の入会について提案説明があり、それぞれ全会一致で承認された。

■提案説明

その 1、共立管財株式会社は、昭和 49 年に設立された総合ビルメンテナンス企業である。本社は横浜市にあり、神奈川県協会に加盟しているが、都内の管理物件の増加から、東京エリアの情報収集のほか、従業員教育の強化等を目的として入会を希望している。推薦会社は、ANA スカイビルサービス株式会社である。

その 2、株式会社クリエイティブクリーンは平成 25 年に設立された。グループ会社のコアグローバルマネジメント株式会社が展開しているホテルの客室及び共用部分の清掃を主な業務としている。特定技能等による外国人労働者を多数雇用しており、そうした情報の収集や従業員教育を目的として入会を希望。推薦会社は、第一企業中央株式会社である。

その3、株式会社SOUWAは、昭和57年に設立された、清掃やリフォームを主な仕事としている企業である。他社との交流や従業員教育の強化を目的として入会を希望している。推薦会社は、東京ビルサービス株式会社である。

第3号議案 委員会委員の追加選任について

標記について提案説明があり、全会一致で承認された

■提案説明

建築物施設保全委員会委員として2名の追加選任を提案する。同委員会で講習会の講師を務める教育研修専門委員会委員は平均年齢70歳前後と高齢化が進み、委員会の早急な体制強化が求められているが、今回新たに2名の候補者が推薦された。いずれも個人委嘱である。

第4号議案 令和5年度 東京都予算要望 ビルメンテナンス業関係施策について

標記について提案説明があり、全会一致で承認された

■提案説明

毎年東京都に対して行っている要望書の提案である。前段として、昨年度要望に対する都の回答について説明する。

大項目1「総合評価制度の拡充について」では、要望していた「環境マネジメント」を評価項目として設定している旨、回答があった。また、大項目2「十分な予算の措置並びに最低制限価格等を導入する場合の協議について」では、複数年契約の案件について新労務単価に変更するのは、現在公共工事設計労務単価の一部のみであるが、「他案件についても検討する」という回答をいただいた。さらに、「社会保険料の適正な計上」については、「適切に含まれている」という回答をいただいた。

本回答を踏まえて、今年度の要望書案を作成した。要望内容は昨年度から大きく変更していないが、全体的に分量を抑えるために、前文を変更するとともに、昨年度の要望への回答を基に修正した。

大項目1「総合評価制度の拡充について」では、政策的評価項目について、「環境マネジメントシステム」を削除した。

大項目2「十分な予算の措置並びに最低制限価格等を導入する場合の協議について」では、複数年契約案件における新労務単価への変更について、より明確に

記載するとともに、社会保険料についての記述を削除した。

大項目3「契約内容の履行確保と入札参加資格の審査について」は、ほぼ修正は無い。

大項目4「障害者雇用の促進について」では、モデル入札の仕様が実際の障害者雇用には適さない内容だったため、障害者の常用雇用につながる契約を増やすとともに、危険な作業を伴う契約は除外することなどを追記した。

大項目5「新型コロナウイルス感染対策について」は削除した。

第3 報告事項

1 委員会報告

(1) 総務委員会

第12回定時総会の実施報告

去る6月2日、第12回定時総会が開催された。コロナ禍の下での開催であり、当日の会場出席者は50名だった。その他の多くの会員の皆様からは、議決権行使書や委任状をご提出いただいた。

審議事項は4件あったが、全ての議案が全会一致で承認された。

また、今回からWebによる議決権行使や委任が可能となった。初めての試みだったが、大きな混乱もなく、全体の6割弱の皆様が利用した。

Webによる議決権行使もおおむね受け入れられたものと見ている。

次年度は役員改選の議案も付議されるので、準備を進めていく。

(2) 財務委員会

ビルメンテナンス会館修繕工事等の実施報告

協会の「中期修繕計画」に基づく修繕工事の実施報告をする。

1. 1階女子更衣室・給湯室等の改修工事
2. 2階研修室AV機器更新工事
3. 4階会議室・地下1階研修室机・椅子等の更新
4. 地下1階男女トイレの改修工事の4件である。

1から3は、経年劣化や破損等により計画されていた修繕工事を実施したものである。

4の地下1階男女トイレ改修工事については、当年度に計画されていた修繕工事ではあるが、4月下旬、委託業者による設備巡回点検時に污水管

からの漏水が確認され、早期の対応が必要になったため、指名競争入札は実施せず、随意契約にて工事発注を実施した。

(3) 労務管理委員会

ア 労働安全衛生大会の開催

今年の労働安全衛生大会は、10月7日の金曜日の14時から、ビルメンテナンス会館で開催する。

内容は、各表彰、東京労働局などの来賓のご挨拶、記念講演、大会宣言等である。令和2年・3年は、コロナ禍のため出席理事の人数を制限して開催したが、コロナも大分落ち着いていることから、今年度は、理事各位に臨席いただく予定である。

また、例年同様、労働安全衛生標語、無災害企業、ヒヤリ・ハット活動についての募集を行っている。優秀作品については、労働安全衛生大会の席上で表彰を行う。申込み期限は7月11日、多くの会員企業、従業員の方からの応募をお待ちしている。

イ ロープ高所作業管理者教育セミナーの実施報告

委員会では、6月を「ロープ高所作業安全強化月間」と位置づけ、改めて高所作業での転落、墜落等の災害防止への意識を高めてもらうよう、セミナーを開催している。6月17日、東京ガラス外装クリーニング協会より講師をお招きし、セミナーを実施した。

ウ ノベルティグッズの製作

上記「ロープ高所作業安全強化月間」に、東京ガラス外装クリーニング協会と共同し、作業時の安全対策としてカードキーや鍵を身につけられるホルダーを製作、会員やセミナー参加者に配付した。引き続き強化月間の普及と安全意識の啓発に努めていく。

(4) 厚生委員会

都立動物園・水族園ご招待募集の案内

都立動物園・水族園の入場制限解除を受けて、動物園・水族園への招待事業を7月8日から29日まで募集する。

なお、今後の厚生事業についてご案内する。下期は野球大会、ゴルフ大会、ボウリング大会、観劇補助が計画されているが、このうち野球大会は残念だが中止する。理由は、チームを擁している多くの会社で本格的な練習の再開ができていないことに加え、猛暑も予想されており、感染防止対策と両立しながらのプレーは選手に大きな負担をかけるため、安全面を考慮したことによる。ゴルフ大会、ボウリング大会、観劇補助については、感染防止対策を行った上で実施を予定している。

(5) 警備防災委員会

ア 上級救命講習会の開催

警備防災セミナーとして、8月3日及び11月14日の2回、上級救命講習を開催する。本講習は救命活動の知識を身につけるだけでなく、受講者へ技能認定証が交付される非常に好評な講習である。コロナ禍の下でも募集定員を通常の半分とし、抽選制で開催している。8月開催分は既に募集を締め切ったが、11月分は9月から募集を開始する予定である。

イ 東京臨海広域防災公園体験学習ツアーの実施

警備防災見学会として、9月16日金曜日に、東京臨海広域防災公園で約90分間の専門ガイド付き体験学習ツアーを開催する。ここはマグニチュード7.3、最大震度7の首都直下地震の発生から避難までをリアルに体験しながら、生き抜く知恵を身につけていただく体験型の防災学習施設である。7月19日から先着順で募集を開始する。

(6) 障がい者等自立支援委員会 工藤委員長

第21回東京障害者技能競技大会への協賛と専門委員・補佐員の派遣

「東京アビリンピック」として知られる同大会だが、今年度も主催団体の独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京支部から、大会への協賛と専門委員・補佐員の派遣依頼があった。大会に協賛し、専門委員3名、補佐員7名を派遣する。大会は、来年2月18日に小平の東京障害者職業能力開発校で開催予定である。

(7) 60周年記念事業実行委員会 佐々木会長

60周年記念事業の実施報告

協会は5月に創立60周年を迎え、6月20日、記念式典を東京国際フォーラムにおいて、祝賀会を東京會館において開催した。1年以上前から準備を進めてきた。コロナ禍の下ということで、一時は実施も危ぶまれたが、式典では主賓に小池都知事、全国協会の一戸会長、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の橋本会長をお迎えし、その他、全国から各地区本部長や各道府県協会会長など多数の来賓の皆様にご出席いただいた。

また、祝賀会は初めて着席方式で開催した。全国協会の狩野名誉会長や東京ビルメンテナンス政治連盟とつながりの深い議員をお招きした。

どちらの催事も十分な感染対策を行い、盛会のうちに終了することができた。関係者に感謝申し上げる。

『60年史』についてはお届け済みだが、4章立ての118ページ、A4判のフルカラーである。会員の皆様のほか、国立国会図書館など関係各所に配付した。

本事業の決算はまだまとまっていないが、9月理事会で決算報告をし、本実行委員会は解散となる。

(8) ビルメンテナンスフェア実行委員会 吉澤委員長

ビルメンテナンスフェア TOKYO2022 の進捗状況

開催が7月14日・15日に迫ってきた。概要などは、5月の理事会で報告したが、その後の進捗を報告する。

開催に向けた広報活動として、山手線の主要17駅や会場のある大門駅などにフェアのポスターを直前の1週間程度掲示する。また、佐々木会長に出席をお願いし、ダルマの目入れ式などを含めたオープニングセレモニーを実施する。

さらに、特別講演として、国際ビジネス&スポーツアナリストのタック川本氏に講演いただくほか、「サステナブルソリューションコーナー」として、持続可能な社会をつくるための新技術やサービスを一堂に会する展示コーナーを設置、会期終了後には、ご来場いただけなかった方向けのバーチャル展示会を実施する。

コロナ禍に打ち勝ち、ビルメンテナンス業界が新たなビジネスに挑戦する姿勢をフェア通じて示していきたい。ぜひ皆さんに、足をお運びいただきたい。

2 他団体への派遣報告

千代田区から、昨年に引き続き、公契約審議会委員として当協会の高橋専務理事の派遣依頼があったため、継続して派遣する。

3 事務局報告

(1) 主な出来事

- 5月：協会の中期修繕計画に基づき、1階女子更衣室・給湯室改修工事、
2階AV機器更新工事を実施するとともに、4階机・椅子を更新
- 6月2日：第12回定時総会
- 20日：創立60周年記念式典・第56回優良従業員表彰式
於) 東京国際フォーラム
- 60周年記念祝賀会 於) 東京會館
- 中期修繕計画に基づく地下1階のトイレ改修工事実施

(2) 今後の予定

- 7月12日：全国協会東京地区代議員会
- 14日・15日：ビルメンテナンスフェア TOKYO2022
於) 都立産業貿易センター浜松町館
- 21日：全国ビルメンテナンス協会定時総会 於) 徳島市
- 9月6日：三役会・第123回理事会
- 10月4日：三役会
- 7日：労働安全衛生大会
- 10日～16日：新・世界ビルメンテナンス大会 2022
於) スウェーデンのストックホルム、スペイン

(3) 会員数の推移

正会員 514 社、賛助会員 69 社 (7月1日現在)

(4) 今後の講習会・セミナーの定員

協会が主催する講習会やセミナーは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一昨年来一部中止するとともに、実施する場合の定員上限

を本来の定員の半分にしてきたが、東京都独自の「リバウンド警戒期間」が終了するとともに、都の感染状況、医療提供体制も一時期より緩和されたことから、6月15日以降に募集する講習会及びセミナーについては、基本的に定員制限を解除し、本来の姿に戻した。

ただし、実習を伴う一部講習会については、研修の質の確保の観点から、当面定員の7～8割で試行実施する。また、演習を含まない講義型のセミナーは、会員の利便性に配慮するため、できるだけオンラインとの併用での開催を実施する。

最近、再度感染拡大が見られるが、受講者本人のマスク着用のほか、協会としても検温、手指消毒、チェックシートの提出の義務づけなど、感染拡大防止措置には十分留意する。

第4 その他

(1) ビルメンテナンス会館の省エネについて

電力の需給逼迫を受け、ビルメンテナンス会館の共用部分を原則消灯するとともに、冷房の設定温度を若干高めに調整している。

(2) 「新・世界ビルメンテナンス大会 2022 in スウェーデン・スペイン」について

全国協会から周知済みの標記の件について、一戸名誉会長（全国協会会長）から、改めて案内があった。

(了)